

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

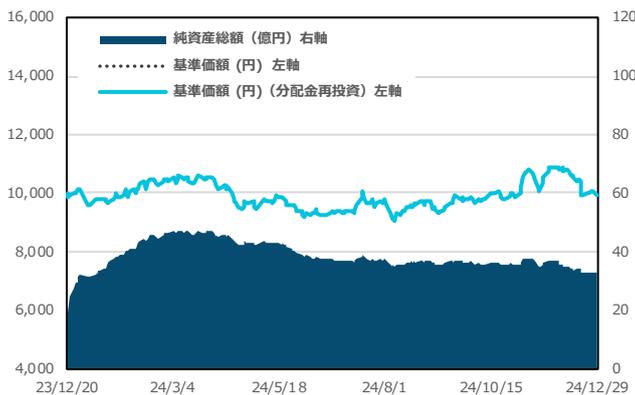
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型株式投信／海外／株式



■Aコース（為替ヘッジあり）

基準価額	9,933円	設定日	2023年12月20日
純資産総額	32.5億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-8.49	1.34	5.87	-2.07	-	-0.67

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1期 '24/4/25				累計
分配金	0円				0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。
 ※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。
 ※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。
 ※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Bコース（為替ヘッジなし）

基準価額	11,604円	設定日	2023年12月20日
純資産総額	562.7億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-3.45	13.36	6.44	14.99	-	16.04

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1期 '24/4/25				累計
分配金	0円				0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。
 ※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。
 ※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。
 ※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型株式投信／海外／株式

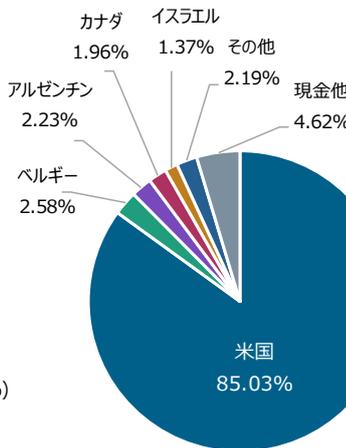


ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン株式マザーファンドの状況

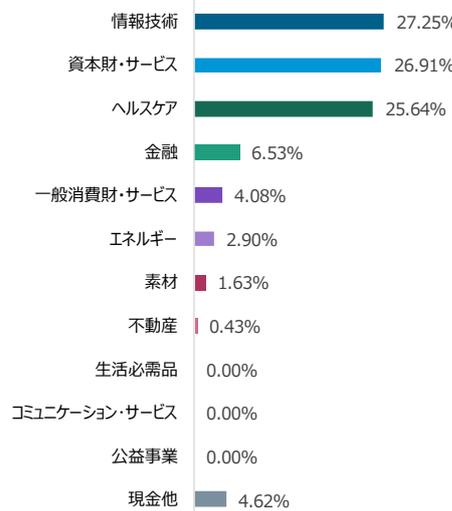
■ 資産配分

株式等	95.38%
現金他	4.62%
合計	100.00%

■ 国・地域別配分（上位5カ国）



■ セクター配分



■ 時価総額別銘柄数（比率）

500億米ドル以上	1銘柄 (1.67%)
200-500億米ドル	16銘柄 (23.94%)
100-200億米ドル	28銘柄 (31.78%)
20-100億米ドル	57銘柄 (34.32%)
5-20億米ドル	28銘柄 (3.35%)
5億米ドル未満	8銘柄 (0.33%)
現金他	(4.62%)

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。

※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。

※現金他には、キャッシュのほか未収・未払金等を含んでおり、マイナスとなる場合もあります。

■ 組入上位10銘柄

（組入銘柄数：138銘柄）

	銘柄名	セクター	通貨	国・地域	構成比
1	デイフォース	資本財・サービス	米ドル	米国	3.49%
2	テレダイン・テクノロジーズ	情報技術	米ドル	米国	2.88%
3	ビル・ドット・コム・ホールディングス	情報技術	米ドル	米国	2.84%
4	ハブスポット	情報技術	米ドル	米国	2.68%
5	トースト	金融	米ドル	米国	2.63%
6	アルジェンX	ヘルスケア	米ドル	ベルギー	2.58%
7	バイオテクネ	ヘルスケア	米ドル	米国	2.55%
8	ペイロシティ・ホールディング	資本財・サービス	米ドル	米国	2.54%
9	コアベイ	金融	米ドル	米国	2.41%
10	アイデックス	資本財・サービス	米ドル	米国	2.36%
				合計	26.97%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。

※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型株式投信／海外／株式



運用担当者のコメント

■市場概況

12月の米国小型グロース株式市場（ラッセル2000グロース指数、米ドルベース）は下落し、大型株（S&P500指数）にも劣後しました。

大統領選を受けて大幅上昇となった11月の反動で、12月は月初から上値の重い推移が続き、月後半に大きく値を崩す展開となりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）が18日に3会合連続となる利下げを発表したものの、FOMCメンバーによる予想の中央値（ドット・プロット）で、2025年中の利下げが前回の計1.00%ポイントから同0.50%ポイントに引き下げられたうえ、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利下げの継続に慎重に臨む姿勢を示したことを受け、年末に向けて取引が細る中で投資家の慎重姿勢が強まりました。利下げペースの鈍化を織り込んで米国債の利回りが上昇したことも株価の押し下げ要因となりました。

ラッセル2000グロース指数の業種別パフォーマンス（世界産業分類基準（GICS）に基づく11セクターのトータルリターンベース）では、「素材」や「不動産」、「金融」、「ヘルスケア」の下落が目立った一方、「情報技術」や「コミュニケーション・サービス」などは相対的に上位となりました。

為替市場では米ドルが円に対して上昇したため、ラッセル2000グロース指数の円ベース・リターンはマイナス幅が縮小しました。

■運用概況

12月のファンドの騰落率は、Aコース（為替ヘッジあり）が-8.49%、Bコース（為替ヘッジなし）は-3.45%となりました。

組入銘柄では、サイアやオールド・ドミニオン・フレイト・ラインといったトラックによる小口貨物運送を手掛ける企業が上位マイナス寄与となりました。ともに、10月から11月にかけての貨物取扱データがやや精彩を欠いたため、トランプ氏の大統領選勝利を受けた米国の経済活動活性化への期待を背景に大きく上昇した前月から株価が反落しました。トースト（レストランにクラウドベースで販売時点情報管理（POS）や決済処理などのサービスを提供するソフトウェア会社）も、当月開催された業界イベントでのCEOの発言が、2024年の収益成長を背景に高まった投資家の期待に比べてやや慎重と受け取られたことから、株価が下落し、組み入れがマイナスに寄与しました。当ファンドでは、サイアやオールド・ドミニオンについて、採算の厳しい業界ならではのプレーヤーの撤退加速→市場シェアの拡大→価格決定力の向上→利益率の改善というサイクルに注目しています。トーストも、支配的な業界標準が存在せず、多くのプレーヤーがひしめく市場において、サービスの質の高さや競争力でシェア拡大と持続的な売上高成長が可能と見込んでいます。

一方、スカラー・ロック・ホールディング（脊髄性筋萎縮症（SMA）患者の運動機能改善を目的とした新薬開発に取り組むバイオ製薬会社）は、同業他社の良好な治験結果が支援材料となり、株価が上昇して組み入れがプラスに寄与しました。

■今後の見通し

2024年は、①人工知能（AI）普及への期待という追い風に引き続き後押しされた、開発力や資金力に富む超大型テクノロジー企業（いわゆる「マグニフィセント・セブン」）か、②金融緩和への転換で膨らんだ根拠のない楽観論やSNSにおける話題性などを背景に、投機マネーや過剰な熱狂の対象となった暗号資産関連や利益の出ない「ミーム」銘柄——（ばかりに人気集中し、持続的なビジネスモデルの基盤となる要素を丹念に調べ上げ、銘柄を選別する投資手法があまり報われることのない相場環境だったように思われます。

しかし、12月に米連邦準備制度理事会（FRB）が楽観論を戒める慎重な利下げ見通しを表明し、景気加速の一方でインフレ再燃も予想されるトランプ次期大統領の政策の功罪の見極めが進む中、2025年を見据えては、規律あるプロセスに基づいて選ばれ、足元の低い回転率が長期的な確信の高さを示している当ファンドの保有銘柄（テクノロジー、ヘルスケア、製造業やビジネスサービス、消費関連など、さまざまな分野で競争優位性、価格決定力、資本配分能力、独自の高い成長要因を持つトップクラスの企業と自負しています）に投資家の視線が向かい、再評価される可能性は高いと信じています。

当ファンドでは、1960年の運用開始から60年以上という、小型株投資では群を抜いて長期の歴史を経て培われた弊社独自の知見やノウハウを基に、イノベーション大国アメリカにおいて次世代のビッグ・ビジネスとなり得る企業を発掘し、それら有望銘柄に成長の初期段階から投資を始め、ファンダメンタルズやバリュエーションなどに鑑みながらも長期にわたって保有を続けることにより、日本の個人投資家の皆様の資産形成や、結果として経済社会における産業構造の変革サポートに貢献することを目指しています。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型株式投信／海外／株式



ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、原則として、米国の小型株式の中で、成長性が高いと判断される企業の株式等に投資を行います*。なお、米国以外の企業の株式等にも投資する場合があります。

*当初ポートフォリオ構築時および小型株式が中型・大型株式へ成長したことにより継続保有する場合等には、中型・大型株式が組み入れられることがあります。

2

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ*1」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス*2のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3

Aコースは、実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコースは、実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク（ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。）は以下の通りです。

株価変動リスク

当ファンドは、米国の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式（米国預託証券（ADR）等を含みます。）の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

小型株投資リスク

当ファンドは、小型株式を投資対象としますが、時価総額が小さい企業の株式は、大規模企業の株式に比べ価格の変動性（ボラティリティ）が高い傾向があります。こうした企業は、十分な資金を確保できない、業歴が短い、事業内容が多様ではないなどの理由から事業後退のリスクが高くなる可能性があり、ファンドの基準価額に影響します。

為替変動リスク

Aコースは、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。

Bコースは、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型株式投信／海外／株式



お申込みメモ

購入時		換金時		申込について		その他	
購入単位	一般コース：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 ※購入後のコース変更はできません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	申込締切時間	午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※2024年11月5日以降、原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とする予定です。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。	信託期間	原則として無期限（設定日：2023年12月20日）
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、1日1件10億円を超える換金はできません。また、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。	繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了（繰上償還）することがあります。 ・各ファンドについて受益権口数が50億口を下回るようになった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・信託契約を解約することに正当な理由がある場合
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消することがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。	決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）
						収益分配	年1回の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
						信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
						公告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
						運用報告書	毎年4月の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に対して交付します。
						スイッチング	AコースとBコースの間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、通常の換金時と同様に税金がかかります。
						課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。一定の要件を満たした公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。当ファンドはNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	購入金額（購入申込日の翌営業日の基準価額×購入口数）に対し、以下の手数料率を乗じた額とします。		運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対し、 年1.738%（税抜1.58%） の率を乗じた額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期の最初の6ヵ月終了日（休業日の場合は翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	購入代金	手数料率	その他の費用・手数料	法定書類等の作成等に要する費用（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用）、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.1%）を上限とする額が毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日（休業日の場合は翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	1億円未満	3.30%（税抜3.0%）		
	1億円以上5億円未満	1.65%（税抜1.5%）		
5億円以上	0.55%（税抜0.5%）	信託事務の諸費用等	組入る有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、ファンドから支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。	
信託財産留保額	ありません。		売買委託手数料等	

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型株式投信／海外／株式



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客さま用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等を対象としているため、投資元本を割り込み損失が生じることがあります。

ご購入の際は販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。

投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

個別銘柄につき、売買を推奨するものではありません。

当資料内で表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。

当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグロウヒル・カンパニー傘下のスタンダード・アンド・プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類

（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

詳しくは、契約締結前交付書面および投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

NOMURA

野村證券

商号等：野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号

加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／

一般社団法人金融先物取引業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



T.RowePrice

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会／

一般社団法人投資信託協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会